

S-Stage ボアアップキット 88cc 取扱説明書

製品番号 01-05-5009

適応車種	モンキー (F1)	(AB27-1900001 ~)
	スーパーカブ 50 (F1)	(AA01-1700001 ~)
	リトルカブ (F1)	(AA01-4000001 ~)



Here is english manual.

Can be view the pdf data of instruction English manual by scanning the TWO-DIMENSIONAL CODE.

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

使用燃料についてのご注意

S-Stage キットは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。
レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。
キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず CR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。

急発進・急加速についてのご注意

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意下さい。

F. I. コントローラーについてのご注意

S-Stage キットのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ず F. I. コントローラーをご使用下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所もしくは市税事務所で原付2種への変更（注：登録手順は各市町村により異なり、当説明書が必要な場合があります。）を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、強制賠償保険等の排気量変更の申請を行って下さい。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。（説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。）
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。
- ◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

～特徴～

このキットはノーマルのシリンダーヘッドを使用し、88ccにボアアップ出来るキットです。
シリンダーはセラミックメッキシリンダーを採用。
オイル取り出しが可能なボスが付いており、シリンダーのオイルラインよりオイルの取り出しが可能です。
又、オイルプラグボルトには M5 ネジ穴を設けていますので、弊社製 M5 温度センサーの取り付けが可能です。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。（法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
※シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

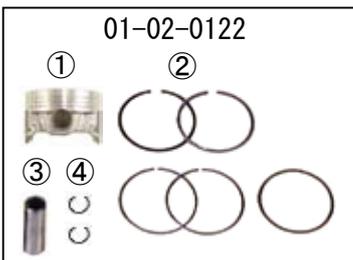
- エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で作業を行って下さい。

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

Lesson

- ◇ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まる。
- ◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず指で締まるところまで締めましょう。1～2回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
- ◇ネジを緩めると言う事は、締まっている状態から左へ3～4回転回す事を言い、取り外すと言う事は左へネジが取れるまで回す事を言う。
- ◇ネジを締めると言う事は、ネジが緩まないようにする事を締めるといいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。この説明書ではPL法(製造物責任法)によりトルクを記載していますが、トルクレンチを用意する事の出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみてください。
- 但し、弊社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
- ◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

製品内容



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ピストン	1	_____
2	ピストンリング	1	01-15-014
3	ピストンピン	1	00-01-0091 (④クリップ付)
4	ピストンピンサークリップ	2	00-01-0003 (6ヶ入り)
5	シリンダー 52mm	1	00-00-1112
6	オイルプラグボルト	1	00-07-0072 (⑧シーリングワッシャ付)
7	オイルプラグボルト M5 穴付	1	00-07-0090 (⑧シーリングワッシャ付)
8	シーリングワッシャ 10mm	2	00-07-0106 (10ヶ入り)
9	シリンダーヘッドガスケット	1	01-13-8009
10	シリンダーガスケット	1	_____
11	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0064 (2ヶ入り)
12	カムシャフト	1	01-08-0332
13	フランジボルト 6x25	1	00-00-0882 (5ヶ入り)
14	原付2種マークセット	1	_____

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。
※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

◇取り付けに使用する工具等

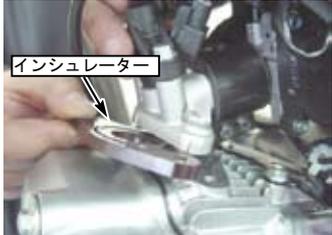


1	トルクレンチ	11	プラグレンチ (車載工具)
2	プラスチックハンマー	12	ラジオペンチ
3	カッターナイフ	13	シクネスゲージ
4	スパナ 8-10	14	マイナスドライバ (極細先)
5	スパナ 12-14	15	ジョイント (中)
6	スパナ 14-17	16	ジョイント (小)
7	メガネレンチ 8-10	17	ボックスレンチ 14mm
8	メガネレンチ 12-14	18	ボックスレンチ 12mm
9	メガネレンチ 14-17	19	ボックスレンチ 10mm
10	プラグレンチハンドル (車載工具)	20	ラチェットレンチ

STD 部品取り外し

●インレットパイプを取り外す (モンキー)

◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を反時計方向に回し取り外す。取り外した後、インシュレーターも取り外す。

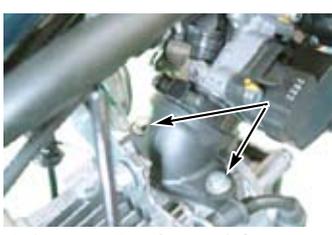


(カブ)

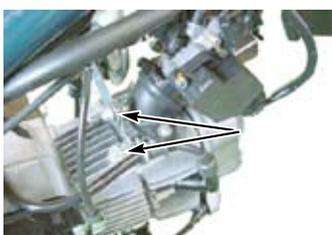
◇A(12mmふくろナット)、B、C(10mmボルト)を反時計回りに回して外し、ワッシャ等も同時に取り外します。左側も同様に外します。



◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を反時計方向に回し取り外す。



◇ホーンステーを取り外す。



●O₂ センサーステーを取り外す (モンキー)

◇シリンダーにあるO₂ センサーステーを取り外す。

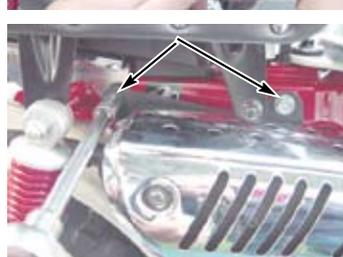
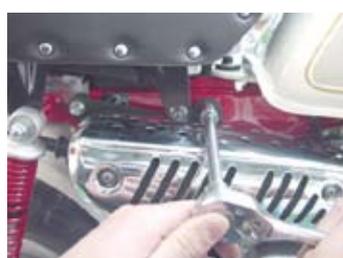


●マフラーを取り外す (モンキー)

◇EXパイプ部のナット2個を反時計方向に回し取り外す。



◇マフラー本体を止めている6角ボルト2ヶ所を反時計方向に回し取り外す。



◇マフラーを外側に引く様にして車体から取り外す。この時、リング状のマフラーガスケットを無くさないように注意する。



(カブ)

◇EXパイプ部のナット2個を反時計方向に回し取り外す。



◇マフラー本体を止めている6角ボルトを反時計方向に回し取り外す。



◇マフラーを外側に引く様にして車体から取り外す。この時、リング状のマフラーガスケットを無くさないように注意する。



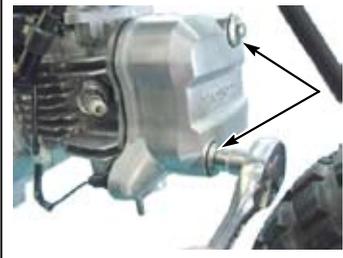
●スパークプラグを取り外す

◇プラグキャップをプラグから引張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引張って外す事。
◇車載工具のプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。



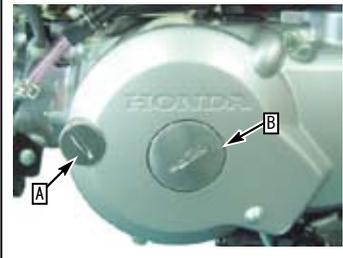
●シリンダーヘッド左カバーを取り外す

◇シリンダーヘッドカバーの6角ボルトを外し、カバーを外す。



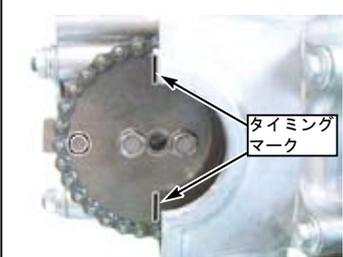
●クランクケース左カバーを取り外す

◇A、Bの2つを反時計回りに回して外します。



●カムプロケットを取り外す

◇フライホイールのTマークとカムプロケットのOマークを前方に向け、タイミングマークをシリンダーヘッド側面に合わせ、各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



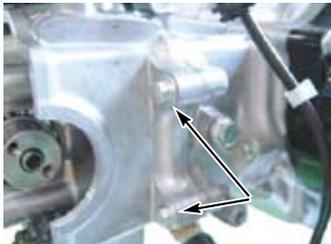
◇フライホイールを固定しカムプロケット6角ボルト2個を反時計方向に回し取り外す。



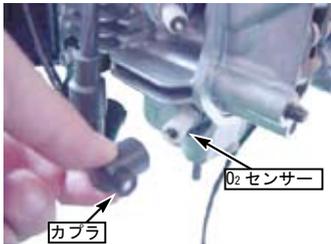
- ◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。
- ◇カムチェーンをカムプロケットから外してカムプロケットを取り出す。
- ◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。



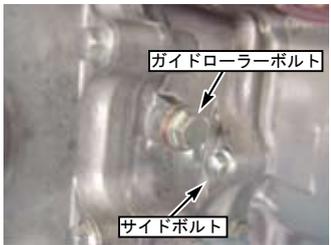
- シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す
- ◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



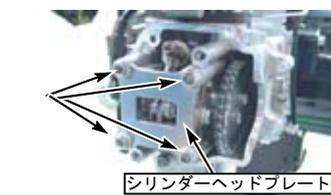
- ◇O₂センサーのカブラを取り外す。



- ◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回し緩める。



- プレートを取り外す
- ◇シリンダーヘッドを止めているナット4個を対角に数回に分けて反時計方向へ回し取り外す。
- ◇シリンダーヘッドプレートを取り外す。



- シリンダーヘッドを取り外す (モンキー)
- ◇フロントフェンダーを取り外す。



- ◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)
- ◇ノックピン2個は再使用するので取り外しておく。



- (モンキー)
- ◇タイヤの空気を抜いて、タイヤを写真の様に押しながら、シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)

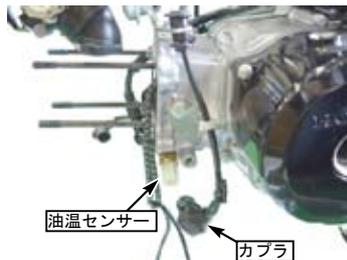


- ◇ノックピン2個は再使用するので取り外しておく。

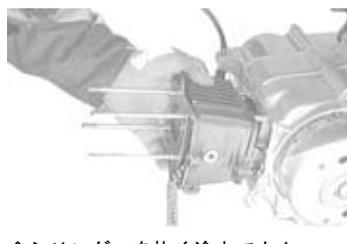
- シリンダーを取り外す
- ◇緩めておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



- ◇油温センサーのカブラを外し、油温センサーを取り外す。



- ◇シリンダーを引き抜く。(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す)



- ◇シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。



- ピストンを取り外す
- ◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさない様にウエスを詰め込む。



- ◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れる。



- ◇ピストンピンをピストンピンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンピンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれる。



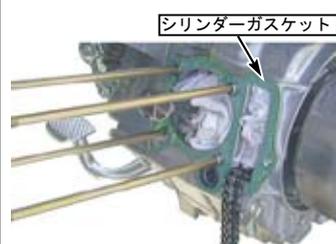
- ◇ピストンを取り外す。



- シリンダーガスケット・ラバーパッキン・ノックピンを取り外す

- ◇ガスケットがきれいにはがれない場合、クランクケースにキズを入れない様にスクレイパーやカッターできれいにはがす。この時、クランクケースセンターガスケットがシリンダー合わせ面にはみ出ている場合は切り取っておく。

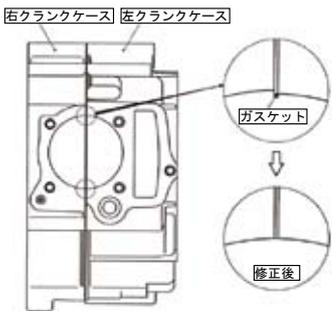
- ▲クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。



修正要領

ここでは下の図の様にクランクケースの段差を無くす修正作業を行います。

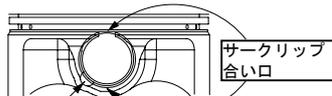
- クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰める。
- クランクケース合わせ面のズレの出っ張っている部分を引っ込んでいる部分と同じ高さになるまでヤスリで削ります。
- 削り取ったら削り粉がクランクケース内に入らないよう慎重にウエスを取り除く。
- ウエスを取り除いた後は、きれいなウエスをクランクケースの穴に詰めておく。
- キットの組立が終わってエンジンをアイドリングで数分かけた後、すぐにエンジンオイルを新品に交換すればOK。



S-Stage キット取り付け

●ピストンを組み付ける

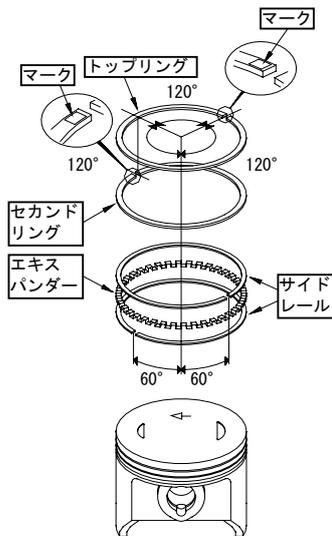
◇ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせる。



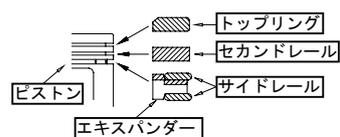
◇ピストン穴切り欠き

◇ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

◇ピストンリングの合い口を合わせる。



◇トップリングの上面及びセカンドリングの上面にはレーザー印字があります。



断面に注意

◇リング溝にエンジンオイルを塗布する。



◇エキスパンダーを入れる。



◇下サイドレールを入れる。



◇上サイドレールを入れる。



◇セカンドリングを入れる。



◇トップリングを入れる。

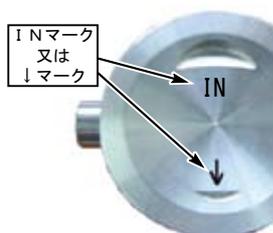
◇ピンボス部にエンジンオイルを塗布する。



◇コンロッドのピストンピン部にオイルを塗る。



◇ピストンヘッド部に矢印マークがある場合はマーク先をエキゾースト側に、INマークがある場合はINマーク側をインテーク側になる様、ピストンを取り付ける。



◇コンロッドとピストンにピストンピンを通す。



◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。

◇ラジオペンチでピストンにキズを付けないように取り付ける。サークリップの合い口は、切り欠き部を避けて取り付ける。押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまう事があるので慎重に行う。

⚠目に入らぬように防護めがねなどを着用して下さい。



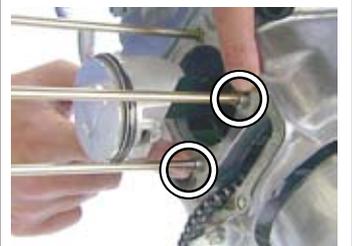
◇作業が完成すれば、詰めていたウエスを取り外す。

●シリンダーの取り付け

◇シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。
◇シリンダーガスケットを取り付ける。



◇ノックピンが付いているか確認する。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



◇シリンダーを入れていく。



◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれないようにしながら指で押し少しずつはめる。



◇リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。



◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを付ける。



◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。

◇ガイドローラーボルトを取り付ける。
(指で締まる程度まで仮止め)

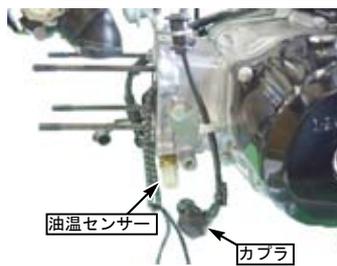


◇キット付属のフランジボルト 6x25 を取り付ける。
(指で締まる程度まで仮止め)



◇油温センサーを取り付け、規定トルクで締め付ける。
作業が完成すれば、カブラを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
油温センサー
トルク：14.5N・m (1.5kgf・m)



●カムシャフト交換

◇シリンダーヘッドに組み込まれているロッカーアームのタペットアジャスティングナットを緩め、タペットアジャスティングスクリューを反時計回りに回してタペットアジャスティングナットとタペットアジャスティングスクリューを一緒に外す。



◇ストッパープレートを取り外す。

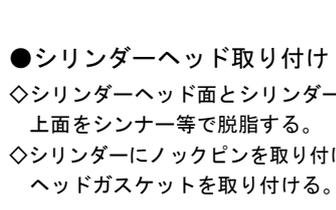


◇ノーマルのカムシャフトを外し、キット内のカムシャフトを取り外しと逆の手順で取り付け。カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもハンマー等でたたかず手で入れる。



◇ノーマルカムに付いていたノックピンをキットのカムに取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ストッパープレートボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

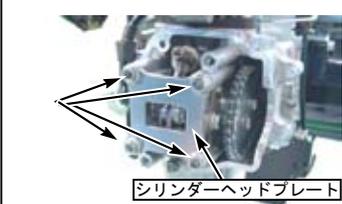


◇シリンダーヘッドをカムチェーンとスタッドボルトを通しながら取り付ける。



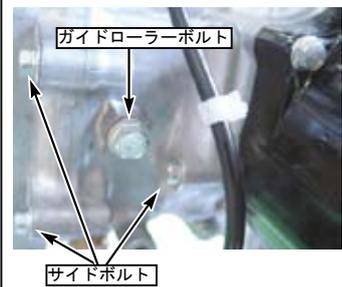
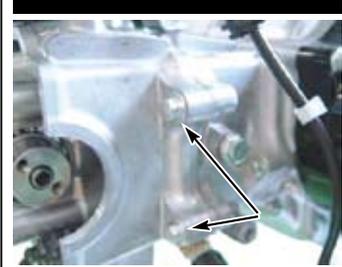
◇シリンダーヘッドプレートを組み付け、ヘッドナットを均等に締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドナット
トルク：14N・m (1.4kgf・m)



◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

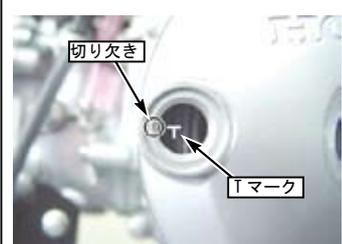
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ガイドローラーボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
サイドボルト上下
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



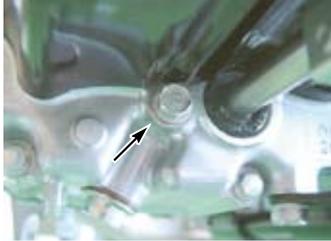
●カムプロケットの取り付け

◇フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせ、ピストンを圧縮上死点に合わせる。

◇カムプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けた時、カム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点になる。

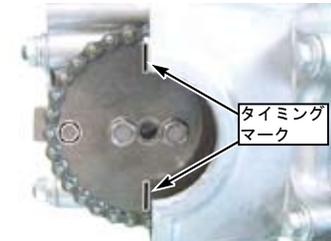


◇チェンジペダルシャフトの横にある6角ボルトを取り外す。
(カムチェーンテンショナーが緩むのでカムチェーンをはめ易くなる。)



少しオイルが出てきますので締め後は拭き取して下さい。

◇カムプロケットの‘O’マークを前方方向に向け、タイミングマークをシリンダーヘッドカバー合わせ面に合わせ、各切り欠き部が合う様にカムチェーンをかけ、カムシャフトに取り付ける。



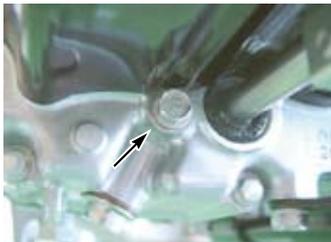
◇フライホイールを固定してカムプロケットボルトを2本締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
カムプロケットボルト
トルク：9N・m (0.9kgf・m)



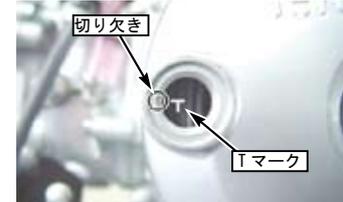
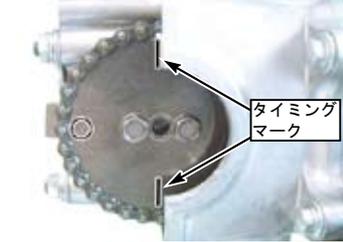
◇チェンジペダルシャフトの横に先程外したボルトを取り付け、締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



●バルブタイミング調整とタペット隙間の調整

◇クランクシャフトを時計回りに2回転し、フライホイールのTマークとケースの切り欠き部とタイミングスプロケットマークが前方を向いた状態で合わせマークが合っているかを確認する。



◇ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいきタペットアジャスティングスクリューとバルブステムエンドの間にシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける。

IN側 0.10mm
EX側 0.12mm

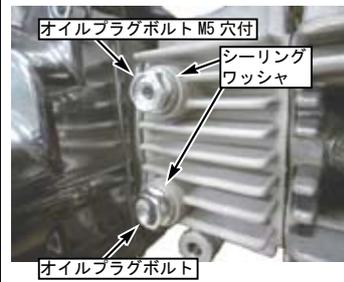
◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転した後でTマークとOマークタイミングマークを合わせる。

◇タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればOK、くるっている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返す。

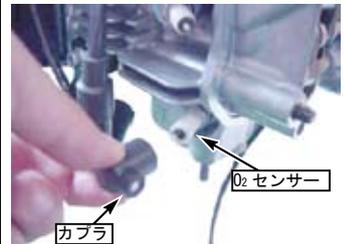


◇付属のシリンダーのボス部2箇所におイルプラグボルト / シーリングワッシャを取り付ける。
オイルプラグボルト M5 穴付は、エンジン取り付け時に上側になる様に取り付ける。
※オイルクーラーキットを取り付ける場合は、そのキットの取扱説明書に従う事。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
オイルプラグボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇O₂センサーのカプラを取り付ける。



●シリンダーヘッドカバー取り付け

◇シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
6角ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



●スパークプラグの取り付け

◇車載工具がプラグレンチを使いプラグを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
プラグ
トルク：16N・m (1.6kgf・m)



◇プラグキャップをプラグに取り付ける。

●ノーマルマフラーの取り付け (モンキー)

◇マフラーを取り付ける。
◇マフラーガスケットをシリンダーヘッドとマフラーの間に挟み込む様に入れる。マフラー本体をピボットシャフトに取り付ける。マフラー本体を止めるナットを締める。
(指で締まる程度に仮止め)



◇EXパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)



◇フランジ部と車体を止めるナットを締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジ部
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
本体部
トルク：20N・m (2.0kgf・m)



(カブ)

- ◇マフラーをブレーキペダルとステップの間に通し、フランジ部をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持って行く。
- ◇マフラーガasketをシリンダーヘッドとマフラーの間に挟み込む様に入れる。マフラー本体をピボットシャフトに取り付ける。マフラー本体を止めるナットを締める。(指で締まる程度に仮止め)



- ◇EXパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)



- ◇フランジ部と車体を止めるナットを締め付ける。

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジ部
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
本体部
トルク：36N・m (3.5kgf・m)



- ◇仮止めの3ヶ所を締め付ける。

●インレットパイプの取り付け (モンキー)

- ◇O₂センサーステーを取り付ける。

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を取り付ける。

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



(カブ)

- ◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を取り付ける。

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ◇ホーンステーを取り付ける。



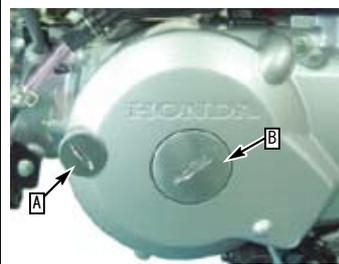
- ◇FIコンTYPE-eをご使用の場合、ノーマルインジェクターのコネクターを取外し、フューエルインジェクタジョイントマウントボルト、フューエルインジェクタをキット付属の物と交換し規定トルクでマウントボルトを固定します。

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：5.1N・m (0.52kgf・m)

●ホールキャップの取り付け

- ◇A、Bの2つを取り付け、締め付けます。

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
A : 1.5N・m (0.15kgf・m)
B、C : 3N・m (0.3kgf・m)



- ◇チェンジペダルを取り付ける。

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

- ◇エンジンやマフラー、インレットパイプ等、今まで付けたボルト類に緩みが無いか確認する。

●F.I. コントローラーの取り付け

- ◇各車種用のF.I. コントローラーの取り付け要領に従い、コントローラーを取り付ける。

●フロントフェンダーの取り付け

(モンキー)

- ◇フロントフェンダーを取り付ける。

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

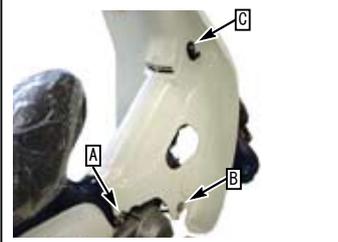


●レッグシールドの取り付け (カブ)

- ◇レッグシールドの後部からフレームに当て、それから前部をはめていく。

- ◇A部に12mmのふくろナットをレッグシールドとの間にプレートをはめて締め付ける。B部に10mmの長ボルトをレッグシールドの裏にスペーサーを挟んで締め付ける。C部に10mmのボルトをワッシャを挟んで締め付ける。左側も同様に取り付け。

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
A : 20N・m (2.0kgf・m)
B、C : 10N・m (1.0kgf・m)



●ご使用前に

1 お願い

◇一般公道を走行される場合は小型2輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付2種への変更（注：登録手順は各市町村により異なる恐れがあります）を行い、強制賠償保険の排気量変更の申請を行って下さい。

※原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。

◇キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

2 使用燃料について

◇燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

◇燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

3 取り付け必要品として

◇当キットを取り付け走行するには以下の部品が取り付けに必要です。取り付けていない場合、保証の対象にはなりません。

3-1 オイルポンプ

出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し各部の冷却や負担を軽減するスーパーオイルポンプの装着は必要です。

必須スーパーオイルポンプ

品番：01-16-0066

3-2 クラッチ

ノーマルクラッチでは十分な対応が出来ず、滑りが生じエンジン出力をドライブ側に十分伝える事が出来ません。

強化クラッチの装着は必要となります。

必須クラッチ

品番：02-01-0203（一次減速比変更なし）
：02-01-0217（一次減速比を16/69→18/67へ） } モンキー

4 スプロケットの変更

◇当キットを取り付けると出力がアップし、ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて扱いにくい状態になります。

また、各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあるために必ずドライブ/ドリブンスプロケットを変更し、スプロケットのハイギア化を各自で行って下さい。

※スプロケットはキット内に含まれておりません。

※スプロケットはクラッチ形式やホイールサイズにより変わります。下の表を参考にして下さい。また、体重や使用用途、好みによるものもありますので参考程度でお考え下さい。

※ドリブンスプロケットを変更する時はリアホイール周りを取り外します。メンテナンススタンド等で車両を確実に支え、リアホイールを浮かせて作業を行って下さい。

S-Stage 推奨スプロケット（体重65kg時）（モンキー）

車種	仕様			推奨スプロケット	
	リアホイールサイズ	クラッチ	トランスミッション	ドライブスプロケット（フロント）	ドリブンスプロケット（リア）
モンキー（F1）	8インチ	マニュアル	4速	16	23
		強化スペシャル	4速	16	25
	10インチ	マニュアル	4速	16	25
		強化スペシャル	4速	16	28

◇ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くす事が出来ない、または足りなくなる場合があります。

チェーンカッター等を使用してチェーンを短くする必要や、新たにドライブチェーンを用意する必要があります。

特に、モンキーの場合などはスイングアームの長さによりチェーンの長さも変わります。

S-Stage 推奨スプロケット（体重65kg時）（カブ）

車種	仕様			推奨スプロケット	
	リアホイールサイズ	クラッチ	トランスミッション	ドライブスプロケット（フロント）	ドリブンスプロケット（リア）
スーパーカブ50	17インチ	遠心	3速	16	35
リトルカブ	14インチ	遠心	3速	16	35

◇ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くす事が出来ない、またはリンク数が必要不足する場合があります。

チェーンカッター等を使用してチェーンを短くする必要や、新たにドライブチェーンを用意する必要があります。

●F.I. コントローラーについて

必ずF.I. コントローラーを取り付けてからエンジンを始動して下さい。

専用のコントローラーを取り付けずに使用されますと空燃比が非常に薄くなりエンジンが重大な故障を起こす恐れがあります。

車両	F.I. コントローラー	備考
モンキー（F1）	FI コン2 :05-04-0029	
スーパーカブ50（F1）（AA01）	FI コンTYPE-e :05-04-0128	弊社製フューエルインジェクター（G-4）:00-00-0271を
リトルカブ（F1）（AA01）	ハイパー ECU :05-04-0201	必ず併用して下さい。

○詳しくは、弊社パーツカタログ又はホームページをご参照下さい。

<http://www.takegawa.co.jp>

◎この取扱説明書は弊社ホームページにPDFデータでアップしております。

印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認下さい。

